

令和4年度 第1回丸森町総合教育会議の概要

日 時 令和4年7月6日（水）午後1時30分～午後3時

場 所 丸森町役場 304会議室

出席者

(1) 構成員

職 名	氏 名	
町 長	保科 郷雄	
教育委員会	教 育 長	佐藤 純子
	教育委員	水沼 智恵
	教育委員	宍戸 克美
	教育委員	小野 祐子
	教育委員	佐藤 勝彦

(2) 教育委員会事務局

職 名	氏 名
学校教育課 課 長	佐藤 利治
生涯学習課 課 長	菊地 欣也
学校教育課 課長補佐	齋藤ゆかり

1 開 会（午後1時30分）

2 挨拶（保科町長挨拶）

3 協 議

(1) 令和4年度主要事業について

学校教育課分（説明：学校教育課長）

① 丸森中学校サブグラウンド工事

- ・旧町営鳥屋住宅跡地西側部分に丸森中学校のサブグラウンドを整備する。
令和3年度内に実施設計業務が完了し、工事については令和4年12月23日工期(予定)で発注している。

② 英語検定等助成事業

- ・小学4年生以上の児童と中学生を対象に、算数・数学検定、英語検定、漢字検定を推奨し、各種検定実施計画からの中から選び、検定料を無料とする。夏季休業明けに、本検定の募集を行う予定としている。

③ ふるさと教育事業

- ・各学校ごとの年間指導計画を基に、「総合的な学習の時間」を活用しながら、学年ごとに教育課程の中に「ふるさと教育」を計画的に位置づけ、それぞれの地域の特色を活かした学習活動を展開している。

生涯学習課分（説明：生涯学習課長）

① 生涯学習振興事業

- ・出前講座や各種講座、家庭教育支援講演会事業、学校教育支援事業等例年どおり実施していく。ここ数年開催できなかった「生涯学習推進町民のつどい」については、新型コロナウイルス感染予防対策を講じたうえで、令和5年1月15日（日）開催予定で準備を進めていく。

② 読書活動推進事業

- ・セカンドブック事業については、本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを実感させ、読書の習慣化を図ることを目的に、読書の町内小学校の新1年生74名の児童に対し、おすすめの本から1冊ずつ配付した。
- ・読書感想文大賞事業については、7月1日に募集をして、9月の審査会を経て10月中旬頃に表彰式を開催する予定で事業を進めている。
- ・読み聞かせ講座については、保育施設の児童及び保護者を対象に、丸森たんぼぼこども園で6月15日（水）に開催した。
- ・読み聞かせボランティア講座は、社会福祉協議会との共催事業で実施している。中学生と高校生を対象に、読み聞かせボランティア講座を8月4日（木）に開催予定である。

③ 心の復興支援事業

- ・移動文庫による図書の貸出については、民間団体に委託して令和3年度から町内の仮設住宅の集会所を定期的に巡回している。
- ・子どもの居場所づくり支援事業として、体験教室を開催している。令和元年東日本台風災害により被災した児童の心に寄り添い、心のやすらぎの回復と社会参画を進めるため、定期的に丸森地区、金山地区を巡回し、スポーツやレクリエーション等、体を動かした体験学習などを実施している。

【質疑・応答】

Q 英語等検定は、何人分予算措置しているのか。

- A 全員1回は受検できるように、町内小中学校全児童生徒分の予算を確保している。
（予算額：小学校563千円、中学校1,330千円）

とても良い取り組みである。特に中学校の場合は、英語力向上ということで宮城県の数値が他の県に比べてあまり伸びていないのが実情である。丸森町では、英語検定の機会を設けていただいているので、大変ありがたい事業である。

Q 検定は、何回まで無料か。

- A 年間で5回くらい英語等検定はあるが、一定の人数を揃え、準会場を丸森に設定することを基本と考えている。当初は、一人1回の検定料を無料とする予定であったが、今後、意向調査結果をもとに無料とする回数を増やすことも視野に入れて挑戦する意欲を高めていきたいと考えている。

Q ふるさと教育は小学校再編により児童が増えたが、どのようにして事業を行っているのか。

- A ふるさと教育の指導計画をベースに、年間の教育課程の中に位置付けているので、学年ごとに実践をしてそれぞれの実績を積みあげているところである。移動手段については、スクールバスの空き時間を活用して事業を行っている。

Q ふるさと教育がスタートして、子どもたちの様子はどうか。

A 子どもたちは、学習してきたことをiPadを活用して気づきや考えを学年ごとにまとめている。町の住民の方々にも、子どもたちがふるさと教育を学習しているということを発表する機会なども作っていったらと思う。

Q 館矢間小学校の5・6年生のふるさと教育はどんなことをするのか。

A 館矢間小学校の6年生は、主に防災教育をテーマにしている。最終的には、町への提言ということで自分たちが学んだことから、丸森町全体を考えて何か提言できることがあるかを模索しながら学習している。5年生は、果樹をテーマに館矢間の果物や耕野の干し柿の加工について学びながら体験学習をしていく。今年度は、全学年で5～6時間ずつ防災教育が盛り込まれている。

Q 読み聞かせ講座について、こども園に貸出の文庫が置いてあるが、借りて家で本を読むという人が少ない。6月15日に丸森たんぽぽこども園で読み聞かせ講座を開催したということだが、何人くらい参加したのか。

A 6月15日に開催した読み聞かせ講座については、28組参加した。今月、幼保小中連携の懇話会があるので、親子の愛着形成も読書からということで話し合っていきたい。

Q 中学校にサブグラウンドを整備するということが、一般開放も行うのか。

A 現段階の考えになるが、体育施設開放と同じように中学校の学習に支障のない範囲で一般の方にも貸し出しをしていく方向で検討していきたい。

(2) その他

意見

今後、丸森町にもコミュニティスクールを導入し、学校運営協議会の立ち上げも視野に入れていってはどうか。

回答

コミュニティスクールは、広い意味での学校運営協議会を立ち上げなくてはならない。今年、特に生涯学習課と学校教育課がふるさと教育を進めていることを土台にして今後練り上げていきたい。

4 閉会（午後3時）